

Ⅳ-157

住民からみた迷惑施設についての調査研究

大同工業大学 正会員 舟渡 悦夫

国土開発センター 非会員 高塚 俊治

1. 調査の背景と目的

都市における諸活動は公共施設、民間施設など様々な施設によって支えられている。ところが、「公園は迷惑な施設」と感じる人もおり、あらゆる施設が迷惑となる可能性を有している。そこで、本研究では、住民にとって「迷惑施設」とはどのような施設で、迷惑の理由は何かについて調べることを研究の目的とした。

2. 調査方法

- 1) 住民にとって「迷惑施設」とは何なのか、資料や文献を基に施設分類を行い、「迷惑施設」と思われる公共施設、民間施設を21施設あげ、住民意識調査を行うためのアンケートを作成した。
- 2) 調査は2種類に分けて段階的に行った。第1次調査は、主として迷惑施設の種類の妥当性をみるための調査であり、第2次調査は、迷惑施設の迷惑理由をたずねる調査項目を追加した調査である。
- 3) 第1次調査の調査項目は、①迷惑施設の種類 ②迷惑施設の知識 ③施設の迷惑度 ④居住地域の環境 ⑤回答者の個人属性から構成されている。第2次調査では第1次調査の結果を踏まえ、迷惑施設の迷惑得点の高い施設から低い施設までグループ分けし、各グループから最低1つの施設が入ること、施設種類を考慮した迷惑施設を限定し、その各々の施設について「迷惑施設の迷惑理由」の質問項目を加えた。
- 4) 第1次調査は、1996年12月名古屋市内で行い、有効サンプル数は75人であった。また、第2次調査の調査対象地区として、名古屋市内のK地区（ラブホテルのある地区）、N地区（比較的居住環境の良好な地区）、M地区（下水処理場・工場のある地区）の3地区を選定した。調査時期は1997年1月であり、地区ごとの有効サンプル数はK地区で105人、N地区で97人、M地区で91人であった。

3. 住民意識調査結果とその考察

1) 迷惑施設の種類の

住民が新たに追加した迷惑施設としては、暴力団事務所、競馬場、新興宗教の施設などがあげられているが、その回答者率は3%未満と少ないため、以後の分析では当初に設定した21種類の迷惑施設で検討した。

2) 迷惑施設についての知識

住民が「よく知らない施設」としては、下水処理場、産業廃棄物処理場、ラブホテル、ファッションヘルスなどの施設があげられた。

3) 迷惑施設の迷惑度

図-1は、21の迷惑施設の各々について、「非常に迷惑」に5点、「やや迷惑」に4点、以下3点、2点、1点と重みを付けた平均値（迷惑得点）を表したものである。迷惑得点の高い施設としては産業廃棄物処理場、工場、ファッションヘルス、ラブホテルなどがあげられ、施設ごとの迷惑得点の大きさに地区の差がないことがわかる。また、図-2は、「迷惑施設についてよく知らない割合」を「知らない率」として、

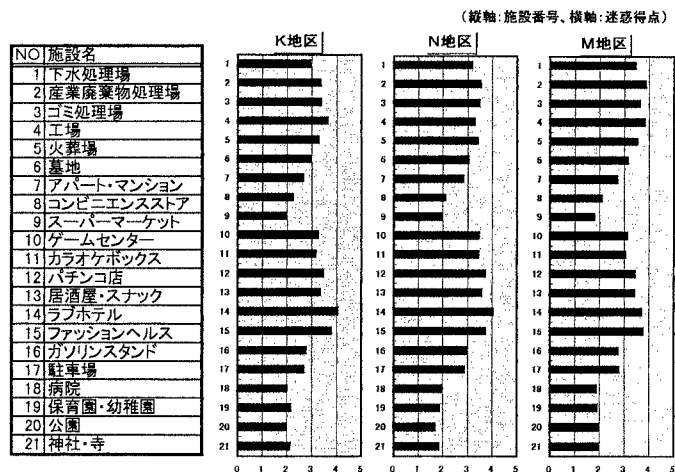


図-1 地区別・施設別の迷惑得点

キーワード: 「迷惑施設」 「住民意識」 「迷惑理由」

〒457 名古屋市中区白水町 40 TEL 052-612-5571 FAX 052-612-5953

迷惑得点との関係を全地区合計のデータから見たものであるが、施設のことをよく知らないにもかかわらず、施設名称から不快感を抱き迷惑だと答える傾向があるように思われる。

4) 迷惑施設の迷惑理由

図-3は、次に示す迷惑施設についての「迷惑である理由」「迷惑でない理由」の割合を示したものである。6つの迷惑施設のうち「迷惑

である」の方が「迷惑でない理由」を上まわっている施設は、ゲームセンターとラブホテルの遊興的施設であり、次いで「迷惑である理由」の割合が高い施設は、駐車場、下水処理場であった。

- ①下水処理場：3地区いずれも主な迷惑な理由として「悪臭、騒音、煙がイヤだから」の割合が高い。下水処理場はその施設が近くにあると迷惑と感じられるが、その反面、住民の生活にとって必要不可欠な施設であり、迷惑ではないという割合も34～64%と多くなっている。
- ②コンビニエンスストア：迷惑な理由の多くは「夜中たまり場になるから」「犯罪が起こるかもしれないから」という回答が主で、コンビニエンスストアがそれほど迷惑だと意識されていないことがわかった。
- ③ラブホテル：3地区いずれも最も迷惑度の高い施設であり、迷惑の理由として「子供の教育に悪い」「周りの景観が悪くなるから」の割合が高い。また、迷惑でない理由として「楽しめるから」「意識していないから」「秘密が守れるから」の少数意見もあった。
- ④ゲームセンター：比較的迷惑度が高い施設として挙げられる。主な迷惑理由としては「夜中にたまり場になる」「環境が悪いから」「教育的に悪いから」などがある。若年層で迷惑でないとの理由もあったが、多くの大人は迷惑な施設と判断している。
- ⑤公園：3地区いずれも迷惑でない理由が最も多かった。迷惑理由として「落ち葉、ゴミ、動物のふんが汚いから」「周りに違法駐車するから」という意見もあったが、「緑があり気が休まるから」「災害時に非難できるから」など迷惑でない理由が圧倒的に多く、住民にとって迷惑でない施設といえよう。
- ⑥駐車場：迷惑理由として「排気ガスが臭いから」「空ぶかしなどでうるさいから」などがあり、迷惑でない理由としては「路上駐車がなくなるから」「必要な施設だから」となっている。駐車場については迷惑よりも、迷惑でない理由が多くなっている。

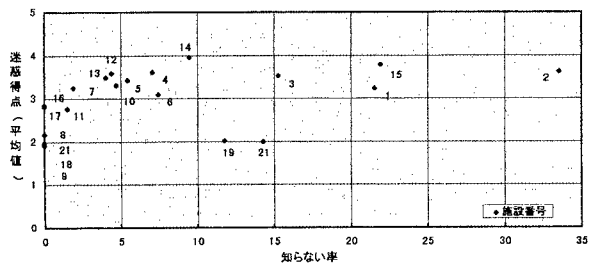


図-2 迷惑得点と知らない率の関係

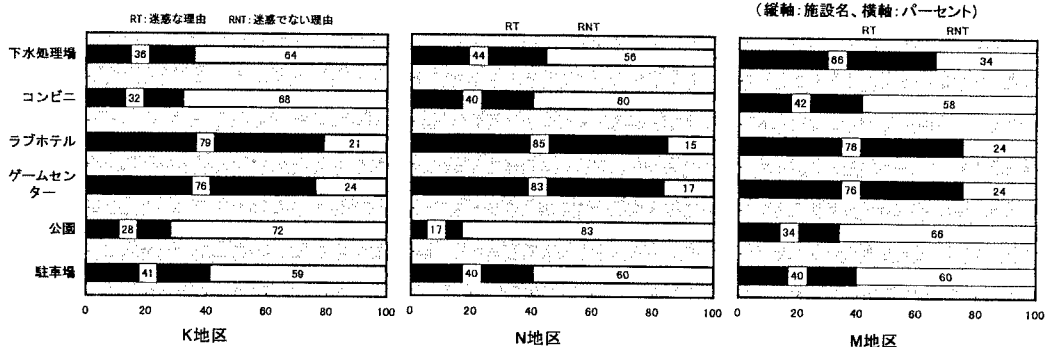


図-3 地区別の迷惑理由の割合

4. まとめ

本調査結果から、ラブホテル、ファッションヘルス、産業廃棄物処理場、ゴミ処理場、工場などが「迷惑施設」としてあげられた。しかし、「迷惑である」「迷惑でない」という相反する理由を多くの住民が抱き、施設の内容を充分知らないにもかかわらず迷惑意識を持たれてしまう施設があることが分かった。